

第34回 **BACH** スクリーンコンサート

2024. 5月

今月のテーマ **フジ子・ヘミングさんを偲ぶ**

フジ子・ヘミングさんは、92歳の誕生日を向かえた後の2024.4.21 逝去されました。

ロシア系スウェーデン人を父、日本人留学生を母親として、ドイツのベルリンで生まれ、幼少期に日本に移住したが、父は日本になじめず、家族を残し一人スウェーデンに帰国。

9歳の時にNHKラジオに最年少で出演、17歳でコンサート・デビューして日本フィルハーモニー交響楽団など多数のオーケストラと共演しました。

戦後は赤十字に認定された難民としてドイツに留学、実力を認められたが、風邪をこじらせて聴力をほぼ失うという不運にも襲われた。その後、耳の治療をしながら音楽学校の教師資格を得て、欧州各地でコンサート活動を続けた。1995年に帰国し、東京芸大（現在の旧東京音楽学校奏楽堂）のコンサートをNHKが「フジコ～あるピアニストの軌跡～：として取り上げたことで、国内でフジコブームを起こすきっかけとなり、その後は生涯現役を實踐して国内外で活躍してきました。

フジコは、「あなたにとってピアノとは？」という質問に「猫たちを食わせていくための道具ね」と答えています。何と幸運な猫たちでしょう！

第7回2021年10月のスクリーンで取り上げていますので、今回は part2になります。

**1、翔け!フジ子・ヘミング 35年目の世界初挑戦 (70分)****～奇蹟のピアニスト密着ドキュメント**

2001年3月から10月にかけて行った世界公演を追ったドキュメンタリー。

初のアメリカ公演となるN.Yやチェコのプラハでのコンサート映像や、関係者のインタビューなどで構成した特別番組。

## 2、2022年ブラチスラヴァソロ・コンサート (70分)

### クラリセス僧院(スロバキア)

90歳でもこんな演奏が出来るなんて、ピアノの音色がとても美しく、音符だけでは表現できない魂の響きとでも言うのでしょうか、優しく癒やされるソロコンサートです。

- 1、シューベルト：即興曲第3番 Op. 90
- 2、スカルラッチィ：ソナタホ長調 K.380
- 3、 // :ソナタ K159 L104
- 4、ショパン：ノクターン Op9 No.2 変長調
- 5、 // :Etude Op25-1
- 6、ショパン：Etude Op10-3 別れの曲
- 7、 // :Etude Op10-5 黒鍵のエチュード
- 8、 // :3つの新しい練習曲、B.130: 第1番 へ短調 (アンダンティーノ)
- 9、 // :Etude Op.10 No.12 革命のエチュード休憩
- 10、ドビュッシー：月の光
- 11、ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
- 12、リスト：ハンガリー狂詩曲第2番
- 13、シューマン：Liederkreis op.39
- 14、リスト：ラ・カンパネラアンコール
- 15、シューマン：トロイメライ～子供の情景より
- 16、モーツァルト：トルコ行進曲